

# INTERVIEW ~Work Life~

## Shigeru Takagi



倉吉河川国道事務所 事務所長  
高木 繁

### 足跡

昭和62年 建設省に入省。  
広島国道事務所 調査設計課係員  
アストラムラインに携わる  
平成 2年 土木研究所 研究員  
平成10年 岡山国道事務所 調査設計課計画係長  
地域と共にまちづくりに取り組む  
平成12年 広島国道事務所 共同溝課  
共同溝係長  
平成14年 道路部 道路計画課  
計画第二係長  
平成19年 松江国道事務所 調査設計課  
課長  
平成20年 企画部 広域計画課  
課長補佐  
平成22年 道路部 道路計画課  
建設専門官  
平成24年 道路部 道路計画課  
課長補佐  
平成27年 国土技術政策総合研究所  
道路構造物研究部  
主任研究官  
平成29年 道路部 道路保全企画官  
平成30年 倉吉河川国道事務所 所長  
約50人を束ねる事務所のトップに

### 構造物のある風景

学生時代は旅行先で橋や道路をよく見ていました。カレンダーの風景写真のように巨大なダムや橋、道路といった構造物が都市や自然の中に溶け込んでいる無駄のない美しい風景が好きです。これで多くの巨大な構造物に携われる国仕事に興味を持ちました。

入省後は広島でアストラムラインの施工に携わりました。高架橋の設計や工事発注をしており、都市の中の構造物に関わることができました。

その後、土木研究所に向し、橋や道路の設計基準の作成や大規模な地震の被災調査を行っていました。被災地では様々な惨状を目撃したり、社会を作っている土木施設の安全向上が大事だと身をもって感じました。

### 地域の人と共に、地域のために

岡山に勤務した時に初めてまちづくりの取組みを行いました。地域の人と共に地域の未来を描くまちづくりや都市交通問題を考え、時には交通に関する社会実験を協働で行いました。新しい道路が必要ではないか、どのように公共交通とリンクする

のか、子育てや福祉の面から見てどうか、人優先の道路が良いか、など都市の未来図を創るようなことをしました。これをきっかけに自分の事業だけの視点でなく、その地域の課題や必要な施策は何かと常に考えるようになりました。

整備局には各地域に根ざした事務所があることで、地域の個性や特徴に合わせた事業を見い出せるという強みがあります。地域の方の声を聞き、地域が困っているのであれば一緒に考え、「地域の人と共に、地域の為になる(心に残る)仕事をする。」を強く心がけています。

### 山陰地域の魅力発信

今は山陰側の事務所で仕事をしています。山陰側は山陽側と比べて交通網が弱く、人口・産業・観光等の面で課題がありますが、中国地方の多くを占める山陰・中山間地域は共通の課題を抱えているのではないかと思います。一方で、あまり伝えきれていない魅力もたくさんあります。今後、中国地方が全国の中で競争力を持つためには、この山陰・中山間地域でどのように活かしていくのかがキーポイントだと思っています。倉吉河川国道事務所から山陰地域の魅力を引き出し、地域の活力や

競争力、防災力の向上につながる取り組みを発信していきたいです。

### 構造物のお医者さん

新しい構造物を造る中、老朽化対策も重要です。人間ドッグのように構造物を定期的に検査し、「経過観察ですね」、「大規模な補修が必要ですね」と構造物を診るお医者さんを育てていくことがこれから必要になります。構造物を造る時から材料を工夫したり気象条件の履歴を残したりと将来の診断に向けての準備も必要です。これから入ってくる皆さんにも構造物のお医者さんに興味を持ってもらいたいですね。



### 自分の目で見る



### 印象に残っている仕事

現在担当している仕事は、国道54号を安全に利用していただくための維持管理の仕事です。交通事故等で損傷した箇所の補修や、日々のパトロール、冬期は除雪を行います。また、交通安全事業として、歩道の整備も行っています。

国道54号は広島県広島市から島根県松江市を結ぶ幹線道路で、地元の方にとって重要な生活道路です。そのため、いつどこで異常が起きても対応できるように、日頃から現場に出て、自分の目で見ることを心がけています。管理者として、管理区間の地名を聞いただけで、風景が目に浮かぶようにしたいと思い、出張所勤務1年目は、管理区間を全て歩きました。

1年間の勤務を経て、例えば「夏には雑草や木で見通しが悪くなる交差点」など、道路は季節によって変わること、車高の違い、子供や高齢者の目線でも違うことを、改めて実感しました。そして、道路管理者がいるからこそ、道路が日々安全に安心して使えることを再認識し、責任とやりがいを感じています。

### 現場の一番の理解者でありたい

出張所勤務で、日々多くの現場に出て、現場の実状を理解すること、情報共有することに努めています。

また、現場に出ていると、現在建設業界の高

齢化が進行していることも切実に感じます。緊急時の体制の考え方や、出張所のあり方など、事務所で働いていた時には、考えがおよばなかったことにまで、目を向けられるようになったと思います。

### 家庭も仕事も充実

産休・育休を経て、復帰1~2年目の勤務は、周囲の理解やサポートもあり、家庭優先ではほぼ毎日定時退庁をさせていただきました。日中は職員として、家に帰れば母親としての務めをこなすことで、この頃から、限られた時間の有効利用を、より意識するようになりました。

子供の急病によって、急なお迎えや、数日間仕事を休まなければならないこともあるため、家庭では食育や睡眠など規則的な生活を心がけ、仕事では主人とお互いの仕事に影響が出ないよう調整を図っています。食育は、子供の「おいしい!」の一言から料理に目覚めたのが、きっかけです(笑)

現在は、子供もある程度大きくなつたので、家庭の時間も大切にしつつ、仕事に比重をかけるようになり、充実した生活が送られていると感じます。

三次河川国道事務所 三次国道出張所係長  
晃 直子

### 足跡

平成17年 国土交通省に入省。  
福山河川国道事務所調査設計第二課  
岡山県笠岡市と広島県福山市を結ぶ福山道路の調査・設計を担当。  
週末はドライブしながらケーキ屋巡り。  
19年 福山河川国道事務所工務課  
松永道路の工事を担当。  
この年に結婚。  
20年 長女誕生  
22年 次女誕生  
23年 産休、育休を経て復職。  
岡山国道事務所交通対策課  
交通事故対策や歩道整備事業を担当。  
26年 岡山国道事務所管理第二課  
橋梁の耐震・補修やトンネルなどの構造物補修の設計・工事を担当。  
日本酒の「おいしさに目覚め日本酒の会」を結成。  
27年 三次河川国道事務所三次国道出張所係長に。

## Naoko Akira



# WORK-LIFE BALANCE

公務員といつても、部署や時期によってはかなり忙しくなることも…。  
ママになってからのワークライフバランスについて、子育て中の女性職員に聞いてみました。

## ●子供を産んでからはみんなどんな風に働いてる?



山村 私は基本的には定時(8:30~17:15)の勤務です。

小学生の子供を学童保育に預けていて、18:00までに迎えに行きます。

堤 私は勤務時間の変更とお昼休みの時間を短縮して、16:45に終業しています。子供が小さい間は、育児時間も取得していました。

小倉 私も勤務時間の変更とお昼休みの短縮です。でも、残業が余りできないぶん、前よりも仕事中は集中してる気がします。

富田 復職後、残業が出来ないことで、最初は自分だけ早く帰るのもなんだか申し訳ない気がしていました。でも、子供も大事だし、出来ることを頑張ろうと思って。今は、子供が大きくなってきたのもあって、残業する日と定時で帰る日のメリハリのある働き方になっています。

## ●家庭と仕事の両立のためにしていることは?

小倉 まだ子供が小さいので、子供が急に体調を崩した時に自分、夫、両親の誰が迎えに行くかを決めています。

山村 家族の助けは本当に有り難いですよね。

堤 我が家は夫婦ともに実家が遠く、近くに頼れる人が居ないので、広島市のファミリーサポート制度に登録しています。

あと、仕事も家事も優先順位をつけて、優先順位の低いものは無理せ



ず諦めることにしています。

吉武 私も頑張りすぎないようにしています。最初は、全部やらなきゃ、と思っていたけど、体調を崩したりして…今は、ある程度手を抜いて、できることをやる、という感じです。



## ●ストレスを溜めないコツは?

吉武 たまに子供を主人に預けて、一人の時間をもらいます。寝たり、コーヒーを飲みに行ったり…ゆったりした時間を過ごします。

山村 私は合間にみて、SNSや読書を楽しんでいます。

でも、週末に家族で過ごす時間が一番のリフレッシュです!

富田 みんな、上手く息抜きしてますね。忙しくて大変だけど、いずれ子供は大きくなるし、育児も仕事も楽しんで出来たらいいですよね!



主任  
小倉佳名子【技術】  
子供2人(6歳、4歳)



専門調査員  
山村 尚美【技術】  
子供2人(高2、小4)



## ◆私たちはこのような制度を利用しています◆

### 休暇制度

#### ●年次休暇

採用初年は15日、翌年からは20日。※残り日数は翌年に繰り越し。年間最大40日。

#### ●特別休暇

夏期休暇 7月～9月のうち連続する3日間

結婚休暇 結婚の5日前から結婚後1ヶ月のうち連続する5日間

その他特別休暇 産前産後休暇、忌引、看護休暇など

#### ●病気休暇

負傷、疾病のため療養する場合

#### ●介護休暇

日常生活を営むのに支障がある家族を介護する場合

#### ●育児休業

3才に満たない子を養育する場合

#### ●フレックスタイム制



フレックスタイム制とは、4週間の総労働時間（155時間）の範囲内で、各勤務日における始業と終業の時刻を職員自らが選択して働くことにより、職員がその家庭生活と仕事との調和を図りつつ効率的に働くことを可能とする制度です。フレックスタイム制には必ず勤務しなければならないコアタイムと呼ばれる時間帯と、その時間内であれば、任意に始業・終業時刻を設定することができるフレキシブルタイムと呼ばれる時間帯があります。

### 共済制度

国土交通省共済組合が職員及びその家族のみなさんの生活をしっかり支援します。

#### ●病気・ケガの診察

医療費の一部を支払うだけで治療が受けられます。

#### ●結婚、出産、育児休業の際

各種給付金が支給されます。

#### ●資金が必要な場合

臨時の支出を必要とする場合に貸付を受けることができます。また、給与からの差引により共済積立貯金も行っています。

## ◆くらしてミーティング◆

女性の感性を活かしたよりよいインフラ整備・管理及び涉外活動を行うため、組織のプレゼンス向上並びに女性の情報共有を行うことを目的とした「くらしてミーティング」を平成26年度に設立。男性も女性ももっと輝ける職場を目指して、活動しています。

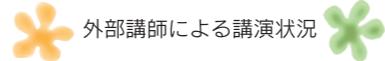
### 女性の感性を活かしたインフラ整備

国土交通省が所管するインフラ施設のうち、子供など一般利用者が多い施設等（国営公園や道の駅など）について、くらしてミーティングメンバーによる女性目線での施設点検を行いました。

点検した結果については、日常の維持管理や、より良い公園整備、道の駅施設として反映できるよう、提案していきます。



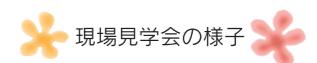
道の駅施設点検



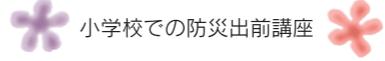
### 外部講師による講演会

女性職員のキャリアプランの意識向上を目的に、社会の様々な分野で活躍する女性による講演会を主催しました。開催にあたっては、女性職員だけでなく、女性が働き続けるために必要不可欠な男性職員への理解を深めるため、女性職員を部下にもつ管理職男性職員も参加しました。

この他、ロールモデルとなる先輩技術系女性職員の講演会も開催しました。



現場見学会の様子



### 建設業界の魅力発信

高専女子フォーラム、建設技術フォーラムなどの機会を活用し、女子学生などへ、国土交通省の魅力と女性職員の活躍などについて、ポスターセッションなどにより説明しました。また、小学生に対して、防災に関する出前講座を実施し、国土交通省の役割などを説明するとともに、技術系女性職員が活躍する姿を発信しました。



2019 カレンダー作成